学校番号	T3009

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	建築実習（測量）	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

測量は、建築物をはじめとする社会の中にあるさまざまな施設・設備を作るための基準を求める作業です。土地の広さや建物の高さを求めるなど、基本的な測量技術と知識をしっかりと身に付けることが、社会の基盤を作っていくうえで必要になります。

測量機器を用いた観測作業を通して、建築物を制作する際の基本となる寸法の重要性を理解しなければなりません。

授業期間は前期もしくは後期で、３年次の実習４単位のうちの１単位に相当します。

２　学習の到達目標

【知識及び技術】測量とは、地球表面上の任意の地点を正確に求める作業であることを知り、測量技術を育成する。
【思考力、判断力、表現力等】測量成果を各種建設工事の計画、設計、施工などのあらゆる場面において利用する判断力を育成する。
【学びに向かう力、人間性等】測量全般にわたっての幅広い知識と技術を習得し、実際の測量に活用できる能力と態度を育成する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・各種建設工事に用いられる測量に関する基礎的・基本的な知識・技術を習得するとともに，創意くふうして測量技術を探求する方法を習得できている。 ・測量に関する学習や測量実習を通して，測量に関する基本的な概念や総合的な把握のしかたを習得し，各種建設工事における測量の意義や役割を理解している。	・各種建設工事の必要な測量に関する諸問題を総合的な見地から的確に把握し，みずから考察を深める。 ・測量に関する知識と技術を活用して適切な判断を行い，測量技術の習得のための創意くふうを行っている。 ・これらの過程や結果およびそこから導き出される考え方を的確に表現することができる。	・各種建設工事の必須技術である測量に関心や探求心をもち，その社会的意義・役割の理解と諸問題の解決をめざして，主体的に学習に取り組める。 ・建設技術者の一員としての望ましい心がまえや態度を身につけようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	測量史	測量の歴史	a：観測結果を適切に記録できる。 a：各種観測における、適切な観測方法を選択し、用具の適切な取扱ができる。 b：各種観測における観測結果を、適切に処理できる。 b ：観測結果の取扱や誤差の判定に関する判断ができる。 c ：測量方法の習得に意欲的に取り組む。	**確認テスト**	**提出ノート**	**提出ノート** **振り返りシート**
	距離測量	テープを用いた観測				
	平板測量	平板の取扱 アリダードの取扱 ヘロンの公式				
	水準測量	レベルの取扱 箱尺の取扱				
	測角測量	トランシットの取扱 倍角の観測				

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度